



Smart Future Island NAKANOSHIMA

中之島まちみらい協議会

中之島のまちづくり理念



中之島まちみらい協議会

エリア内の地権者などで形成する協議会として2004年に発足しました。
中之島のさらなる発展・活性化を目指し、産官学民が連携しながら、
エネルギー・環境、コミュニティ、防災などの活動を推進しています。

Smart Future Island NAKANOSHIMA

スマート・フューチャー・アイランド
中之島

暮らしを豊かにする 「Smartな未来のまち」へ

中之島では、環境先進都市としてさまざまな課題を解決し、
人々の暮らしをより豊かにするさまざまな取り組みを展開しています。

Smart Future Island NAKANOSHIMAでは、
これまでまちづくりに関係する人々とともに、築き上げた取り組みを中心に3つの分野にまとめました。
未来の中之島がより魅力と活力にあふれるスマートなまちとして発展し続けることを目指しています。


エネルギー・環境


最新技術などを活用し 環境に配慮したまちへ

堂島川と土佐堀川に囲まれた立地環境を生かし、河川水の温度差などの再生可能エネルギーを活用した地域冷暖房をはじめとする、エネルギーの面的利用を推進しています。ほかにも、屋上や壁面の緑化、緑道といったグリーンインフラによりヒートアイランド現象の抑制を促進するなど、環境に配慮したまちづくりを展開しています。


 自然エネルギー


 CASBEE

 雨水・再生水の利用

 エネルギーマネジメントシステム

 地域冷暖房システム


 河川水の熱利用

 グリーンインフラ


コミュニティ

地域の絆を育む コミュニティ活動を

さまざまな企業、団体などが主体となり、打ち水や橋洗い、次世代の育成に向けたこどもワークショップの実施などに取り組んでいます。このような取り組みを通じて人と人が触れ合えるまちを築き、地域の課題解決や非常時の助け合いにつながることがを望み、コミュニティ活動を推進しています。

 モビリティ

 にぎわいづくり

 ウォーカビリティ


 水と光の演出


 エコ活動

防災

ハード・ソフトの両面から 安全で安心なまちに

大規模オフィスが集積し、4万5千人のオフィスワーカーが働く中之島。さらには人々が集まる文化施設も充実する特徴的なエリアであることから、大規模災害に対する安全・安心なまちづくりが高い次元で求められています。中之島地域は特定都市再生緊急整備地域に指定され、地域の安全確保をはじめとする防災力向上を官民で進めるために都市再生安全確保計画を策定しました。今後もエリア防災のソフト・ハード両面からの充実を図り、取り組みを続けていきます。

 エリア防災活動

 防災インフラ

中之島まちみらい協議会

会員企業

株式会社朝日新聞社
株式会社朝日ビルディング
朝日放送株式会社
味の素株式会社
NTTコミュニケーションズ株式会社
NTT都市開発株式会社
国立大学法人大阪大学中之島センター
株式会社大阪国際会議場
大阪地区開発株式会社
株式会社大林組
オリックス株式会社
関西電力株式会社
関電不動産開発株式会社
国立国際美術館
京阪ホールディングス株式会社
住友商事株式会社
住友生命保険相互会社
一般財団法人住友病院
住友不動産株式会社
ダイビル株式会社
株式会社竹中工務店
東洋製罐グループホールディングス株式会社
独立行政法人都市再生機構 西日本支社
西日本電信電話株式会社
日本銀行 大阪支店
三井物産株式会社
三井不動産株式会社
三菱地所レジデンス株式会社
株式会社ロイヤルホテル

29社（50音順・2017年9月現在）

事務局

関西電力株式会社 地域エネルギー本部 地域エネルギー開発グループ
〒530-8270 大阪市北区中之島3-6-16 Tel.06-6441-8821

株式会社竹中工務店 開発計画本部(西日本)
〒541-0053 大阪市中央区本町4-1-13 Tel.06-6262-7310



中之島を楽しむ！知る！地域情報サイト「中之島スタイル」
<http://www.nakanoshima-style.com>

【日本語】

【English】



Island NAKANOSHIMA

DATA

地区面積	約50ha
施設床面積	約150万㎡
未利用容積 (更地、駐車場等未利用地)	約60万㎡
従業者数	約45,000人
夜間人口	約2,200人



コミュニティ

エコ活動

地域美化、そして来街者へのおもてなしとして、地元企業や住民が堂島川沿いを清掃するクリーンアップ活動を行っています。ほかにもエリア一帯で河川水などを使用した打ち水プロジェクトを実施し、涼やかな夏を演出。さらに、中之島にかかる橋を清掃する「橋洗い」を行うなど、多彩なエコ活動に取り組んでいます。



打ち水プロジェクト

防災

エリア防災活動

中之島を大阪都心部で最も安全・安心なエリアとすることを目標に、2012年からエリア防災の取り組みを始めています。地域の事業者の防災意識向上を図るため、専門家による講演会や防災ワークショップなどを定期的に開催しています。官民が一緒になって防災活動に取り組むことで、災害に強いまちを目指しています。



防災ワークショップ

防災

防災インフラ

ハード面からも災害に強いまちづくりに取り組んでいます。幅が広く破綻の恐れがないスーパー堤防の整備、護岸や橋の補強を行うことで、水辺環境を美しく保ちながら地震などによる水害を防止しています。地震が起きた時の退避施設や備蓄倉庫の整備のほか、川を災害時の物資運搬ルートとして使うことも計画しています。

都市再生安全確保計画

大規模地震発生時にエリアに滞在する人の安全確保などを図る「都市再生安全確保計画」を2016年に策定しました。計画に基づき、災害時の退避施設指定や、災害行動マニュアルの作成、地域の事業者の連携による防災体制の構築、防災ワークショップなどを実施しています。

エネルギー・環境

グリーンインフラ

大阪市初の公園である中之島公園は、緑あふれる都心のオアシスです。中之島には、その中之島公園をはじめ、ほたるまちや中之島四季の丘など、緑豊かなエリアが豊富にあります。敷地内の空地を積極的に緑化することで、癒しの空間を創出するとともに、ヒートアイランド現象の抑制にも取り組んでいます。



中之島四季の丘

コミュニティ

モビリティ

観光スポットやホテルなどが点在する中之島では、ビジネスにも観光にも便利な中之島ループバス「ふらら」が巡回しています。さらに、中之島は川を使って物や人を運ぶ「舟運」の港として江戸時代から栄えていました。今では夜景や桜などを川から眺めるクルーズを運行し、まちの魅力向上を図っています。



クルーズ(写真提供:大阪水上バス)

コミュニティ

にぎわいづくり

中之島にはフェスティバルホールや大阪市中央公会堂、大阪府立国際会議場などの関西を代表するホールがあり、文化・国際・ビジネスの交流・情報拠点としての役割を担っています。また「中之島まるごとフェスティバル」「中之島なつまつり」など、さまざまな場所でイベントが催され、まちの活性化につながっています。



中之島なつまつり

コミュニティ

ウォーカビリティ

中之島の特徴である川沿いに美しい遊歩道を整備しているほか、オフィスビルをつなぐデッキを用意し、歩きやすいまちづくりを行っています。ビルの合間には緑豊かな公園を設置するなど、土地利用の多様性も実現しています。



遊歩道(写真提供:水都大阪コンソーシアム)

コミュニティ

水と光の演出

水と触れ合える場を積極的に作っている中之島には、川を眺めながら食事や文化を楽しむ施設が多くあります。冬の風物詩として多くの観光客が訪れるイルミネーション「OSAKA光のルネサンス」をはじめ、橋や大阪市中央公会堂のライトアップなど、光で夜を鮮やかに彩っています。こうしたイベントを通して、明るく歩きやすい川辺を実現したほか、中之島に大きな経済効果をもたらせ、まちの価値向上に寄与しています。



ライトアップ
(写真提供:水都大阪コンソーシアム)